



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

新型コロナウイルス感染症での看護職の活動 現場で活躍する看護職をサイトで紹介

感染管理認定看護師や軽症者施設での取り組みを掲載中

公益社団法人日本看護協会(会長:福井トシ子、会員76万人)は、このたび、公式サイトに新型コロナウイルス感染症に対応する看護職の活動を紹介するページを公開しました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない中、各医療機関や施設では懸命な対応が続けられています。感染者が急増した時期に、現場では何が起きていたのか、看護職たちはどう動いたのかなどを振り返り、各領域で奮闘した看護職の活動をシリーズで掲載します。



防護服着用のオリエンテーションの様子
(大阪府看護協会)

◆紹介テーマ◆

【掲載中の事例】

- 感染管理認定看護師の活動
(医療法人尚和会宝塚第一病院)
- 軽症者宿泊施設における活動
(大阪府看護協会、福井県)
- 中小病院、一般病院での活動
(医療法人直心会帯津三敬病院、救世軍ブース記念病院)

【今後、掲載する事例】

- 都道府県看護協会の取り組み
- 看護管理者の活動
- 保健師の活動
- 助産師の活動
- 訪問看護における活動
- 介護施設等における活動

など

《掲載ページ》

■日本看護協会公式サイト> 看護実践情報> 新型コロナウイルス感染症関連情報>

新型コロナウイルス感染症での看護職の活動(右の2次元コードからもリンク)

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/case/

※ 事例は6月25日~9月まで、順次掲載します。

※「新型コロナウイルス感染症関連情報」(https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/)には、本会が国に行った要望や記者会見の資料などをすべて掲載しています。併せてご覧ください。



■事例1:認定看護師を中心に感染対策で成果(医療法人尚和会宝塚第一病院)

兵庫県内の病院で、院内感染が発生した。同院の感染管理認定看護師は、CT画像を基にいち早く医師の診断を得て、新型コロナウイルス感染症の陽性患者を確認。院内の感染制御チームとともに対策会議を招集し、病棟の入退院を制限するなど迅速に対応した。

その後も、組織横断的な業務調整や体制づくりに努め、全職員と入院患者のPCR検査を実現して陽性者を明確にしたことで、早期の外来再開や病棟の再編成につなげた。

■事例2:“軽症者宿泊施設は私たちが引き受ける”～復職を申し出た潜在看護師たち～ (大阪府看護協会)

ホテルや研修所に看護師が常駐し、24時間体制で健康管理を行う、軽症者用の宿泊療養施設。大阪府から施設の整備について相談を受けた大阪府看護協会は、同施設での健康管理業務を一手に引き受けた。離職していた看護職を非常勤職員として日当5万円で雇用し、感染対策のオリエンテーションを行った上で現場に派遣した。看護職が安全に、満足して働けるよう配慮しながら、府の医療崩壊の防止に貢献した。

■事例3:全国初の軽症者宿泊施設の立ち上げに奔走(福井県)

全国に先駆け、軽症者宿泊施設を立ち上げた福井県。県看護協会からの依頼を受け、県職員として復職した感染管理認定看護師が、施設のオープンに奔走した。施設は、もともと共同生活を前提とした研修施設で、浴室やトイレは共同だった。感染リスクを減らすため、作業内容の検討や防護服の選択、着脱の指導などを実施。スタッフだけでなく患者とも、施設がより快適な療養の場となるよう意思疎通を図りながら活動した。

■事例4:行き場を失っている患者を断らない～テント診察とフロントライン～ (医療法人直心会帯津三敬病院)

限られた資源や人員の中で、院内感染を防ぎつつ来院する発熱患者への対応に取り組んだ看護職の事例。発熱患者に対し、病院玄関のインターフォン越しに看護職が問診し、感染が疑われる場合は無人テントに誘導後、患者自ら検温、測定。モニター越しに院内の看護職に見せ、医師が問診を行うというリモートの仕組みをつくり上げた。看護職を中心に、正面玄関で患者の体調などを聞き、感染の自覚がない患者の確認も行った。

■事例5:“コロナ渦中”の着任 専門知識が病院を変えた(救世軍ブース記念病院)

4月に副看護部長として入職した感染管理認定看護師が、それまで感染症を専門とする医師や看護師がいなかった病院で、感染対策マニュアルの改訂や最新情報の共有・発信に尽力した。マニュアルを手に各部門を回り、根拠を示しながら具体的に指導することで、職員の不安を軽減。全職員を対象とした研修会も、3密を避けながら1カ月余りで14回行い、対策を伝え続けた。

◆事例の詳細は、本会 HP「新型コロナウイルス感染症での看護職の活動」に掲載中です◆
https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/case/

報道関係の皆さまにおかれましては、取り組みの趣旨をご理解いただき、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。